

2015年12月21日(月)～2016年3月21日(月)
12:00～18:00

ひかりの庭

病院にアートがあることで何が起るのでしょうか？
見た目の美しさ？ それとも、見る人の気持ちの癒しでしょうか？

治療に特化しがちな病院空間に、例えば一枚の絵、一枚のキルトがあることで、美しいものを愛する誰かの存在がそこに立ち現れます。その場がそうした人間の感受性を大事にしている「人間の空間」であることを、アートが宣言してくれています。

「びょういんあーとぶろじえくと」は、病院にアートが持つ力を呼び入れようと、7年前から札幌ライラック病院での展示を中心に活動してきました。代表で画家の日野間尋子さんは「創作は、人間を知ろうとすることであり、どう生きるかを学ぶこと」と語ります。であればこそアートは、医療関係者、事務局、患者などそれぞれの役割と立場を超えて、個別の人間の感性を呼び覚まし、そこに新たなコミュニケーションを呼び込んでくれているのかもしれない。

この冬にお届けする企画展「ひかりの庭」で、どうぞそっと深呼吸し、そこに揺らいでいる光に触れ、あなたの耳を澄ませてみてください。文：加藤康子



題：プリンセスのおべんとう

びょういんあーとぶろじえくと・オープニング企画



2015年12月21日(月)
15:00～15:30

クリスマスコンサート

北海道札幌北高等学校合唱部
会場：北海道がんセンター 1F



Sanae

社会福祉法人 富良野あさひ郷
北の峯学園芸術創作活動展

Kitanomine Gakuen

会場

独立行政法人 国立病院機構
北海道がんセンター

唐神知江 ドローイング展

Karakami Chie

会場

医療法人 北志会
札幌ライラック病院



題：心象風景

